

# 震災伝承及び 防災教育について

平成31年1月22日  
「平成30年度 県政に関する県と市町村との意見交換会」

岩手県復興局

# 岩手県東日本大震災津波復興計画 第3期復興実施計画（平成29～30年度）の概要

## ①取組方向

交流を力に、多様な主体の連携と県民みんなの参画により、被災者一人ひとりの復興を成し遂げ、より良い復興につなげる「三陸復興・創造」

## ②取組の柱

### 3つの原則に基づく取組 +

「安全」の確保

「暮らし」の再建

「なりわい」の  
再生

- ① 防災のまちづくり
- ② 交通ネットワーク
- ③ 生活・雇用
- ④ 保健・医療・福祉
- ⑤ 教育・文化
- ⑥ 地域コミュニティ
- ⑦ 市町村行政機能
- ⑧ 水産業・農林業
- ⑨ 商工業
- ⑩ 観光

### 三陸創造プロジェクト

東日本大震災津波により甚大な被害を受けた三陸地域の早期の復旧、復興はもとより、長期的な視点に立ち、多くの人々をひきつけ、多様な人材を育む地域として、将来にわたって持続可能な新しい三陸地域の創造を目指す。

- ① さんりく産業振興プロジェクト
- ② 新たな交流による地域づくりプロジェクト
- ③ 東日本大震災津波伝承まちづくりプロジェクト
- ④ さんりくエコタウン形成プロジェクト
- ⑤ 国際研究交流拠点形成プロジェクト

# 東日本大震災津波伝承まちづくりプロジェクト

～ いつまでも忘れない ～

～ 災害に強いひとづくり、災害に強いまちづくり ～

## 目指す姿

東日本大震災津波の記憶がいつまでも人々の心の中にとどまり、東日本大震災津波で得た教訓が確実に次世代へ伝わっている。

子どもたちへの防災教育の推進や、地域全体の防災意識の高揚によって防災力が強化されるとともに、防災・減災に配慮した「災害に強いまち」、地域の歴史や文化を踏まえた魅力ある「ふるさと」が創られている。

### 【取組内容】

#### （１）記録収集と経験の継承・伝承

- ①震災津波伝承施設（仮称）の整備推進
- ②「いわて震災津波アーカイブ～希望～」の周知及び活用促進
- ③復興への取組等に対する理解や継続的な支援・参画を促進するための情報発信

#### （２）津波復興祈念公園整備

- ①追悼と鎮魂、地域再生の拠点となる津波復興祈念公園の整備推進

#### （３）総合的な防災力の強化

- ①既存施設を活用した広域防災拠点の配置・運用
- ②防災教育教材等を活用した広域防災拠点の配置・運用
- ③防災意識の高揚、自主防災組織の育成強化
- ④災害に強く魅力あるまちづくりの技術的支援

#### （４）復興を担う次世代の人材育成

- ①実践的な防災教育の推進
- ②いわての復興・防災教育の推進

岩手県東日本大震災津波復興計画  
第３期復興実施計画  
（平成29年度～平成30年度）

# (1) 記録収集と経験の継承・伝承

## 第3期復興実施計画（平成29年度～平成30年度）

平成29年度に、震災津波伝承施設（仮称）の展示製作に着手するなど、整備を進めるとともに、「いわて震災津波アーカイブ～希望～」の活用を図り、東日本大震災津波の教訓と復興の取組を、巨大災害が想定され防災に関心の高い地域をはじめ、広く国内外に伝えていく。

- ①東日本大震災津波の事実と教訓を世界及び次世代に継承していくための拠点となる震災津波伝承施設（仮称）の整備推進
- ②東日本大震災津波の教訓を後世に継承し、防災・教育等に生かすための、震災津波関連資料の蓄積及び活用促進
- ③復興への取組等に対する理解や継続的な支援・参画を促進するための情報発信

右：「いわて震災津波アーカイブ～希望～」のトップページ



## 三陸創造プロジェクトの取組実績

### 【平成30年度までの主な取組実績】

- 平成28年6月に「震災津波伝承施設展示等基本計画」を策定し、東日本大震災津波伝承館の展示に係る基本設計をとりまとめ、平成29年12月に展示等実施設計が完了したほか、平成30年3月に展示製作業務に着手し、ラグビーワールドカップ2019™釜石大会開催前の開館を目指して整備を推進している。
- 平成28年3月に策定した「震災津波関連資料の収集・活用等に係るガイドライン」に基づき、県、市町村及び関係機関から約24万点の震災津波関連資料を収集したほか、収集した記録が物語る教訓を後世に継承し、防災・教育等に生かすための仕組みとして、アーカイブシステム「いわて震災津波アーカイブ～希望～」を構築した。
- 震災学習を核とした教育旅行の誘致に向けた観光プラットフォームの設置や、震災語り部の取組を支援するガイドブックの作成など、情報発信・受入態勢の整備を進めたほか、教育旅行、企業研修旅行の誘致活動に取り組んだ。
- コミックいわてWEBにより震災関連マンガ11本（第2期以前の実績を含む。）を配信した。

### 【主な課題】

- 「いわて震災津波アーカイブ～希望～」の構築など教訓を伝承するための仕組みづくりが進んできており、今後も東日本大震災津波伝承館の整備・運営など、これらの仕組みづくりを一層進めていく必要がある。

## (2) 津波復興祈念公園整備

### 第3期復興実施計画（平成29年度～平成30年度）

平成29年度に工事に着手するなど、関係機関と調整を図りながら整備を進めていく。

- ①東日本大震災津波の犠牲者を追悼・鎮魂し、震災の経験や教訓を継承するとともに、市街地や利用者の安全を確保し、地域のにぎわい再生に資する津波復興祈念公園の整備推進

右：津波復興祈念公園全体の鳥瞰イメージ



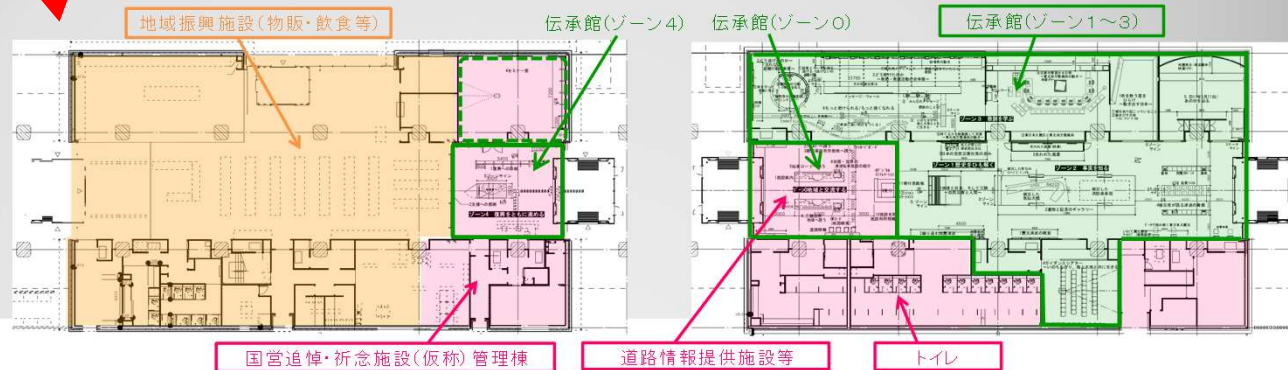
### 三陸創造プロジェクトの取組実績

#### 【平成30年度までの主な取組実績】

- 「高田松原津波復興祈念公園基本構想」を平成26年6月に、「高田松原津波復興祈念公園基本計画」を平成27年8月に、それぞれ策定した。
- 高田松原津波復興祈念公園基本設計を取りまとめ、実施設計を実施している。
- 国営追悼・祈念施設（仮称）周辺区域の造成工事を進めている。

#### 【主な課題】

2019年の東日本大震災津波伝承館等の開館時期にあわせて公園の一部供用を開始し、2021年度当初の全面供用を目指して、工事の計画的な進捗を図っていく必要がある。



## (3)総合的な防災力の強化

### 第3期復興実施計画（平成29年度～平成30年度）

広域防災拠点を活用するとともに、出前講座の周知を図りながら広く実施すること等により、防災文化の更なる醸成を図っていく。

- ① 訓練の実施や備蓄物資の配備・更新など既存施設を活用した広域防災拠点の配置・運用
- ② 防災教育担当教員研修の実施など防災教育教材等を活用した防災教育の推進
- ③ 小中学校等での出前講座の実施や、自主防災組織の活性化に向けた地域防災サポーターの登録・派遣など防災意識の高揚、自主防災組織の育成強化
- ④ まちづくりを担う市町村が抱える課題の解決に向けた取組を行うなど災害に強く魅力あるまちづくりの技術的支援

### 三陸創造プロジェクトの取組実績

#### 【平成30年度までの主な取組実績】

- 広域防災拠点運用マニュアルを作成し、訓練等の実施による円滑な運用が図られたほか、計画的な備蓄により、備蓄物資（食料28,800食分、飲料水109,800ℓ）を備蓄し、熊本地震や平成28年台風第10号災害の際に一部提供した。
- 大雨洪水災害を対象とした防災教育教材を作成し、操作研修会を5回実施した。
- 小中学校等での津波防災に関する出前講座を61回開催し、防災意識の向上等が図られた。
- 自主防災組織の結成及び活性化支援のため、各地域に岩手県地域防災サポーターを168回派遣した。
- 防災集団移転促進事業による買取対象面積のうち、事業化済みとなっている面積は約44パーセント（平成30年8月末現在）となっている。

#### 【主な課題】

防災体制の整備、教育現場での防災意識の醸成、自主防災組織の活性化支援など、総合的な防災力の強化に向けた取組が推進されてきており、今後も不断の見直しを行いながら、これらを継続していく必要がある。

## (4) 復興を担う次世代の人材育成

### 第3期復興実施計画（平成29年度～平成30年度）

復興・防災に係る指定校や実践地域を指定し支援する等の取組を進め、学校や地域、教育委員会との連携を強化することにより、復興・防災に係る意識啓発や学校支援の充実を図っていく。

- ① 指定校への活動助成や学校防災アドバイザーの派遣による学校支援など実践的な防災教育の推進
- ② 実践地域への活動助成や学校関係者等への研修、学校訪問の実施など、いわての復興・防災教育の推進

右：「いわての復興教育」副読本を活用した学習風景



### 三陸創造プロジェクトの取組実績

#### 【平成30年度までの主な取組実績】

- 毎年度、学校教育の中で復興・防災教育に重点的に取り組む学校を実践校等に指定するとともに、希望する学校に学校防災アドバイザーを派遣することで、実践的な防災教育を通じた地域防災の担い手となる人材の育成が図られた。
- 県内全ての公立学校で「いわての復興教育」に取り組み、郷土を愛し、復興・発展を支える人材育成に努めた。

#### 【主な課題】

- 今後は、震災の経験がない児童が入学することから、「いわての復興教育」について工夫をしながら推進していく必要がある。

# 今後の取扱い

平成30年度までの復興計画期間内で取組を進めた成果として、より具体的な展開が図られてきていることから、次期総合計画においては、それぞれの取組の内容に応じて、復興推進プランや政策推進プランに振り分けて再構成し、取組を進めていく。

## 次期総合計画における主な関連分野

取組内容	次期総合計画における主な関連分野		
	プラン等	分野・取組項目等	
東日本大震災津波伝承まちづくりプロジェクト	(1) 記録収集と経験の継承・伝承	復興推進プラン	事実・教訓の伝承 22「教訓の伝承の仕組みづくり」
	(2) 津波復興祈念公園整備	復興推進プラン	防災のまちづくり 2「故郷への思いを生かした豊かで快適な生活づくり」 事実・教訓の伝承 22「教訓の伝承の仕組みづくり」
	(3) 総合的な防災力の強化	復興推進プラン	防災のまちづくり 1「災害に強く安全で安心な暮らしを支える防災都市・地域づくり」 事実・教訓の伝承 23「防災・復興を支えるひとづくり」
		政策推進プラン	安全 27「自助、共助、公助による防災体制をつくりまします」
(4) 復興を担う次世代の人材育成	復興推進プラン	事実・教訓の伝承	23「防災・復興を支えるひとづくり」

取組内容	復興計画期間			次期総合計画期間			
	本格復興期間	更なる展開への連結期間		国復興期間			
	H28	H29	H30	2019	2020	2021	2022～
(1) 記録収集と経験の継承・伝承							
①東日本大震災津波伝承館の整備推進	基本設計	実施設計	展示製作	開館、管理運営			
②「いわて震災津波アーカイブ～希望～」の周知及び活用促進	資料の収集・蓄積 システム構築	システムの周知及び活用促進	教訓の継続的な伝承				
③復興への取組等に対する理解や継続的な支援・参画を促進するための情報発信	情報発信・震災学習受入態勢整備	「コミックいわて WEB」を活用した復興情報発信	震災学習の意義の普及、震災語り部などによる震災経験の伝承	情報の継続的な波及			
(2) 津波復興祈念公園整備							
①追悼と鎮魂、地域再生の拠点となる津波復興祈念公園の整備推進	設計	用地取得	施設整備	全面供用管理運営			
(3) 総合的な防災力の強化							
①既存施設を活用した広域防災拠点の配置・運用	訓練の実施及び防災時の活用 備蓄物資の配備・更新	防災に備えた訓練の継続実施、物資の計画的な備蓄					
②防災教育教材等を活用した防災教育の推進	防災教育担当教員研修の実施 防災教育教材の普及	防災教育教材等による研修の継続実施					
③防災意識の高揚、自主防災組織の育成強化	小中学校等での出前講座の実施・地域拡大 自主防災組織の活性化に向けた地域防災サポーターの登録・派遣	出前講座の継続実施 地域防災サポーターの登録・派遣の継続実施					
④災害に強く魅力あるまちづくりの技術的支援	復興まちづくりの技術的支援	復興のステージの変化に伴う課題に対応した支援の継続					
(4) 復興を担う次世代の人材育成							
①実践的な防災教育の推進	実践校への活動助成 アドバイザー派遣等による学校支援	学校支援の継続実施					
②いわての復興・防災教育の推進	学校関係者等への研修や学校訪問の実施	研修や学校訪問の継続実施					
	実践校への活動助成	学校支援の継続実施					
	研修の実施等による学校支援	実践地域への活動助成	地域支援の継続実施				